



## 原発性肺胞低換気症候群

### 【概要】

脳・脊髄・呼吸筋・胸郭・肺などにはっきりした異常が見つからないにもかかわらず、体内の酸素が少なく、二酸化炭素が多い病的状態を指します。

### 【疫学】

まれな病気で、日本では数十例の報告があるだけです。あらゆる年齢層で見られます。

### 【病態】

呼吸により、肺では酸素を体内に取り込み、体内で作られた二酸化炭素を体外に排出しています。この肺内での空気の入替えを換気とよんでいます。肺胞低換気は、肺に問題がなく、換気が少ないために、体内の酸素の量が少なく、二酸化炭素が多くなっている状態をさします。換気を調節している脳・脊髄・呼吸筋・胸郭などの問題でおこります。その中で、はっきりとした病気が見つからないにもかかわらず、肺胞低換気がおこっているものを、原発性肺胞低換気症候群とよんでいます。

### 【症状】

疲れやすい、眠れない、昼間も眠い、起床時の頭痛などがみられます。眠ると、低換気状態がさらに悪化して、強い低酸素状態になります。

### 【診断】

肺・胸郭・呼吸筋の働きは正常です。酸素が少

ないとき、二酸化炭素が高いときに、換気を増やす反応が低下しています。しかしながら、大きな呼吸を繰り返すことで、血液の中の酸素や二酸化炭素の濃度を正常に戻すことができます。そして、明らかな原因がはっきりしない場合、原発性肺胞低換気症候群と診断されます。

### 【治療】

治療は、体内の酸素および二酸化炭素の量が適正になるように、人工呼吸器を使用します。マスクを装着したり、のどに穴を開けたり（気管切開）して、足りない換気を補助します。最近ではマスクによる人工呼吸器が主流になっています。起きているときのQOLを保つため、睡眠中にのみ器械を装着してもらうことが多いです。

### 【生活上の注意】

疲労や感染により、病態がさらに悪化しますので、疲労や感染する機会を減らすようにしましょう。外出時はマスクをし、外出後は手洗い・うがいをしましょう。疲れたと感じた時は、人工呼吸器を、夜間のみではなく、日中にも装着しましょう。睡眠時間も十分確保しましょう。

### 【予後】

夜間睡眠中の換気補助により、昼間の低酸素や二酸化炭素が高い状態が改善し、長期生存が可能になっています。

MEMO

日本呼吸器学会では学会ホームページにて「市民のみなさま向け」に様々なコンテンツを公開しています。ぜひご覧ください！



## 呼吸器の病気

Respiratory disease

『疾患別』に症状や、診断・治療方法を解説しています。

## 呼吸器

Q&A



『症状から』対応方法などをQ&A形式でお答えします。

※ここに書かれている内容は、あくまで一般的なものであり、必ずしも貴方の病気にあてはまらない事もありますので、この内容を参考にし、呼吸器の専門医の診察を受けてください。

日本呼吸器学会  
ホームページ

[www.jrs.or.jp/](http://www.jrs.or.jp/)